

令和 4 年度 青少年赤十字  
リーダーシップ・トレーニングセンター（高等学校の部）  
実施報告



日 時：令和 4 年 10 月 16 日（日）9：30～16：00

会 場：日本赤十字社長野県支部

主 催：長野県青少年赤十字指導者協議会

 日本赤十字社 長野県支部  
Japanese Red Cross Society

後 援：長野県教育委員会、長野市教育委員会、信濃教育会



## 1. 日時

令和4年10月16日（日）9:30～16:00

## 2. 会場

日本赤十字社長野県支部

## 3. 参加者

- (1) 青少年赤十字高校生メンバー 27名
- (2) 青少年赤十字指導者 8名
- (3) ボランティアスタッフ 4名（長野県青年赤十字奉仕団・青少年赤十字卒業生）
- (4) 日本赤十字社長野県支部職員 2名

## 4. リーダーシップ・トレーニングセンターについて

リーダーシップ・トレーニングセンター（以下、「トレセン」という）は、昭和24年から実施されており、今年で72回目となりました。

この活動は、青少年赤十字の教育プログラムのひとつで、「気づき、考え、実行する」活動を通して、生徒一人ひとりのリーダーシップを育てることを目的としたプログラムです。学校や社会等の集団生活において、それぞれが役割を持ち、仕事の内容や時と場所によって、ある時はリーダーになり、またある時は協力者の立場をとることができるよう、参加者全員が「リーダーシップの取り方を学ぶこと」を目指しています。

生徒一人ひとりのリーダーシップを育てることを目的としています。

また、この目的のほかにも、トレセンでの活動と交流により、生徒たちの自主・自律の心が養われることを期待しています。



【参加者への配布物】

参加者ガイド、青少年赤十字ワッペン、トレセン通信、記念タオル等

## 5. 実施概要

### (1) 開会式

開会の挨拶として、日本赤十字社長野県支部 組織振興課長 山崎から、トレセンで学んでほしい内容をお伝えしました。

### (2) オリエンテーション

ボランティアスタッフである青年赤十字奉仕団が企画・進行を務め、心理テストを交えながら、一人ひとりが自己紹介をしました。心理テストの結果から、その人の性格や自分との共通点を知ることができ、交流の良いきっかけとなりました。

### (3) ホームルーム活動（テーマ等の設定）

本日の活動に関する説明ののち、5つ のホームルームに分かれて、活動の方針やテーマを話し合いました。



### (4) 昼食

新型コロナウイルス感染症に注意しながら、各自で持参した昼食を取りました。食事中は黙食としましたが、食後にはさまざまな人と交流するなど、楽しい時間となりました。



## (5) フィールドワーク

長野駅周辺でフィールドワークを行い、「やさしさや思いやりの心」を感じられるものを探しました。それぞれのホームルームでは、事前にどのような物があるか予想していましたが、実際に足を運んでみると、多くの新たな気づきがありました。



## (6) ホームルーム活動（まとめ）

フィールドワークで気づき、考えたことをもとに、社会の中の工夫や課題について話し合いました。

ホームルーム活動の中では、意見や方向性の違いが生じたときに、お互いを尊重し合い、考えをまとめていく様子や、限りある時間を意識して、各々が役割を持って活動に取り組む様子など、一人ひとりのリーダーシップが発揮されていました。



### (7) 共有

各ホームルームによる発表がおこなわれ、一人ひとりの気づきや考えを共有しました。障がい者や子育て世代、観光客などのさまざまな視点からの検討がなされました。



### (8) 閉会式

本日の活動を見守ってくださった村澤晃先生から、講評がおこなわれ、「みんなの行動が、世の中を変えるかもしれない。一人だと不安な気持ちがあるかもしれないけれど、みんなには学校にも、ここにも、仲間がいるので、一歩ずつ良い方向へ進んでいきましょう。」と伝えられ、参加者全員に修了証が授与されました。

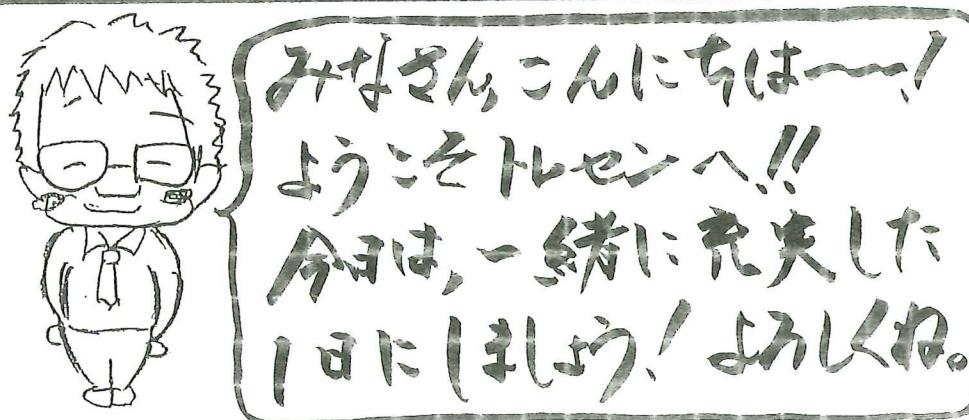


一日という短い時間だったけど、  
みんなで過ごした時間と一緒に考えた経験が、  
今後の生活に活かされることを願っています！

それでは最後に、村澤先生の  
トレセン通信を紹介します。  
第2号はトレセン中に作成し、  
当日、みんなに配布されました！



# 青年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター通信第1号 2022.10.16(日)



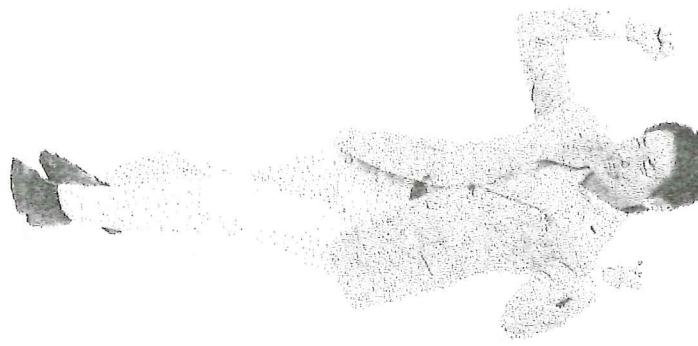
改めまして、「みなさん、こんにちは。トレセンスタッフ」の村澤です。長野商業高校に勤務しています。よろしくお願いします。さてさて、このトレセンレコロナの関係でしばらく開催することができませんでしたが、日赤長野県支部のみなさんを初めとして、多くのご尽力で開催できました。本当に感謝しています。みなさんの先輩方も、毎年トレセンに参加してくれ、多くのことをなんてくれました。以前は2泊3日で行っていましたが、まだまどコロナが落ち着いたとは言えない状況ですので、今年は1日開催となりました。夏休み中の開催を計画していましたが、それも延期となり、やっとのことで、本日の開催となりました。本当にうれしく思っています。感染予防をしっかりとして、今日1日を過ごしてください。体調が悪くなったら、遠慮せずに近くのスタッフに声をかけてください。それでは、1日一緒に勉強し、多くのことを考え、実践していきましょう。よろしくね。

今日のメインは「フィールドワーク」です。ホームルームの仲間とかかれて、「やさしさと思いやりの心」を持って取り組んでくださいね。詳しいことは、中野立志館高校の中嶋先生からお話をあらわので、しっかりと聞いて、その後、各ホームルームに分かれて、フィールドワークに向かうテーマ説明をしてくださいね。「気づき、考え、実行する」が青年赤十字の合言葉です。身近な問題を発見(気づき)し、問題解決のための道筋や方法を探り(考え)、活動に取り組み、評価や反省をかたちに(実行)する。生活の中や社会で働く上で非常に大切な力です。是非とも、「フィールドワーク」を通して「気づき、考え、実行する」を体験してくださいね。それから、トレセンでは、学校や社会等の集団生活において、それそれが役割を持ち、仕事の内容や時と場所によって、ある時はリーダーになり、またある時は協力者の立場をとることができるように、参加者全員が「リーダーシップの取り方を学ぶこと」を目指しています。本日の活動の中でも、リーダーとして動いたり、協力者としてサポートしたり(ながら、「リーダーシップの取り方を学んでください。」)スタッフは、基本的には「指示」はしませんので、みんなで気づき、考え、実行してください。スタッフは優しい眼差しをもとに向けて、にこにこしながら見守っています。みんなを「いろいろな形でサポート(てもううために、青年赤十字青年団からび)」に青年赤十字卒業生のみなさんをかけてきてくださいました。みんなと年齢の近い10代~20代のお兄さん、お姉さんです。頼りになる先輩方ですよ。トレセンは、自分を成長させ、とてもいい場です。どんどん積極的にチャレンジしていくくださいね。そんでは、1日よくお願い(ます)。

諦めるのは誰でもない自分だ

壁は打ち破れるかも  
君が次に叩く1回で、  
しれないんだ!」

# 「失敗したら ガッポーズ」



失敗も本気なら  
成長するチャンス

失敗のない人生はありません。  
人は何度も失敗します。でも、それは成長するチャンスです。と言つて  
も、それを理解して受け入れるのは簡単なことです。あります。  
今の時代は、一度の失敗が人生の失敗のようない気持でいるの  
も問題です。だから、とにかく主義でなくトライがよいこ  
とばかりを考えています。

つと、あの1回叩けば壊れるかもしれません。でも金への人たちが、し  
かずる前に諦めてしまはず。みんな「あと1回」とわかつていてれば叩くは  
その壁を壊せば成功ですが、何回叩けば壊れるかは分かりません。もし  
人に未来は分かりません。だから、自分を信じ叩き続けるしかないの  
です。つすれば、いつかは壊せるのが前の壁なのです。

壁を壊した瞬間が目標を達成した瞬間、成長する瞬間、自信を手に入れ  
る瞬間です。自分を信じてください。壊せない壁が目の前に来るのは  
ありますから。

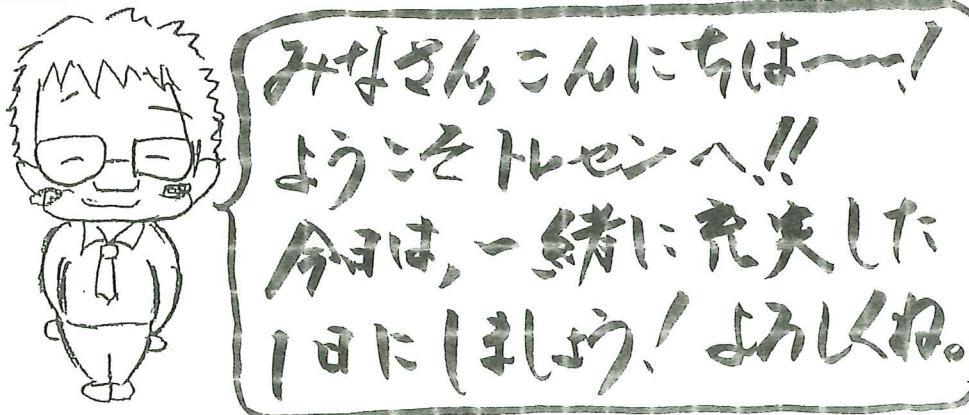
最後ではないのは、人に言われて諦めることです。

その前に壁があります。う人もいるでしょう。それで僕はいんな話をします。  
でも、諦めたくなるよつば誘惑が、世の中にはたくさんあります。本当  
だけの、背を向けるのが自分しかいません。目標してしまったものを追い続  
けては続けたい、ひとと追求めたいといつづつ思つはあるのに、誘惑に負けてしま  
うかするといふ。あと1回叩けば壊れるかもしれません。でも金への人たちが、し  
かずる前に諦めてしまはず。みんな「あと1回」とわかつていてれば叩くは  
目の前に壁があります。

その壁を壊せば成功ですが、何回叩けば壊れるかは分かりません。もし  
人に未来は分かりません。だから、自分を信じ叩き続けるしかないの  
です。つすれば、いつかは壊せるのが前の壁なのです。

壁を壊した瞬間が目標を達成した瞬間、成長する瞬間、自信を手に入れ  
る瞬間です。自分を信じてください。壊せない壁が目の前に来るのは  
ありますから。

# 青年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター通信 第1号 2022.10.16(日)



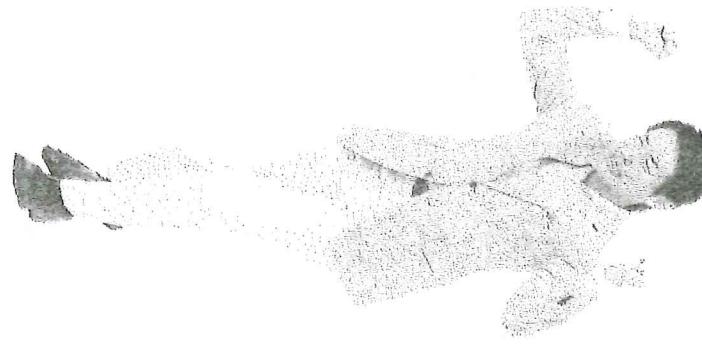
改めまして、「みなさん、こんにちは。トレセンスタッフ」の桂澤です。長野商業高校に勤務しています。よろしくお願ひします。さてさて、このトレセンレセニレコロナの関係でしばらく開催することができませんでしたが、日赤長野県支部のみなさんを初めとして、多くの方のご尽力で開催できました。本当に感謝しております。みなさんの先輩方も、毎年トレセンに参加してくれ、多くのことをなんてくれました。以前は2泊3日で行っていたのですが、まだ「まだコロナが落ち着いたとは言えない状況ですので、今年は1日開催となりました。夏休み中の開催を計画していましたが、それも延期となり、やっとのことでのことで、本日の開催となりました。本当にうれしく思っています。感染予防をしつかりとして、今日1日を過ごしてください。体調が悪くなったら、遠慮せずに近くのスタッフに声をかけてください。それでは、1日一緒に勉強し、多くのことを考え、実践していきましょう。よろしくね。

今日のメインは「フィールドワーク」です。ホームルームの仲間と協力して、「やさしさと思いややりの心」を持って取り組んでくださいね。詳しいことは、中野立志館高校の中嶋先生からお話をるので、しっかりと聞いて、その後、各ホームルームに分かれて、フィールドワークに向けたテーマ説明をしてくださいね。「気づき、考え、実行する」が青少年赤十字の合言葉です。身近な問題を発見(気づき)し、問題解決のための道筋や方法を探り(考え)、活動に取り組み、評議や反省をかたちに実行すること(実行)は、生活の中や社会で働く上で非常に大切なのです。是非とも、「フィールドワーク」を通して「気づき、考え、実行する」を体験してくださいね。それから、トレセンでは、学校や社会等の集団生活において、それそれが役割を持ち、仕事の内容や時じ場所によって、ある時はリーダーになり、またある時は参加者の立場をとることができるよう、参加者全員が「リーダーシップの取り方を学ぶこと」を目指しています。本日の活動の中でも、リーダーとして動いたり、協力者としてサポートしたり(ながら、「リーダーシップの取り方を学んでください。」)スタッフは、基本的には「スムーズな指示・はしらせんので、みんなで気づき、考え、実行してください。スタッフは優しく眼差しをみんなに向け、にこにこしながら見守っています。みんなをいふくわ形でサポート(てもううためには、青年赤十字青年団からびに青年赤十字卒業生のみなさんをかけてくれました。みんなと卒業の近くの10代~20代のお兄さん、お姉さんです。頼りになる先輩方ですよ。トレセンは、自分を成長させ、とてすい場です。どんどん積極的にチャレンジをしてくださいね。そんでは、1日よろしくお願ひ(ます)。

諦めるのは誰でもない自分だ

君が次に叩く1回で、  
壁は打ち破れるかも  
しれないんだ!」

失敗したら  
ガッポーズ



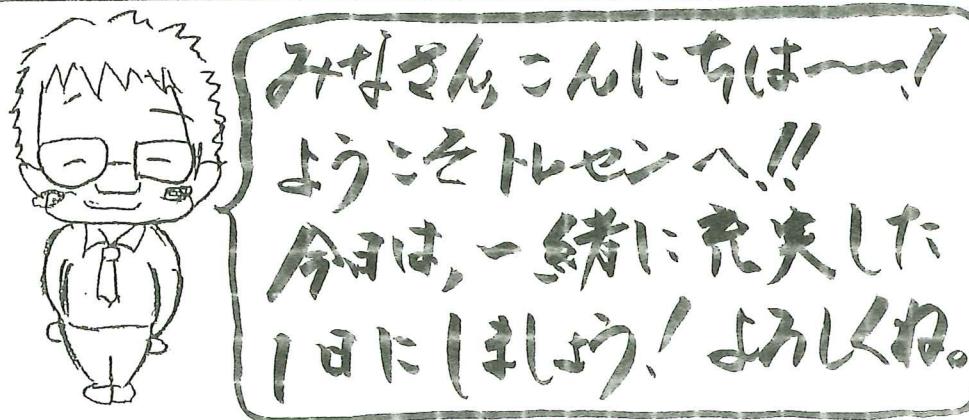
失敗のない人生はありません。でも、それは成長するチャンスです。これは何度も失敗します。でも、それは成長するチャンスです。も、それを理解して受け入れるのは簡単なことです。本当に現役時代、試合に負けたときに、「どうしてまた上手くやべり続けたの?」背や向けるのが自分しかいません。でも、諦めたくならぬよつば誘惑が、世の中にはたくさんあります。本当に仕事を、夢、人生、どんなことでも諦めてしまつたらやめてしまつてが終わるの、背や向けるのが自分しかいません。でも、諦めたい、ひととひとと追求したいと思う思いはあるのに、誘惑に負けてしまつたんだ!と一晩中自分を責め続けました。失敗は成長のチャンスです。頭で分かっていても、なかなかできなさうです。でも、失敗も本気なら成長するチャンスです。今は問題でしょ。だから、とにかく主義でなくともアラカルがいい。とにかく失敗しないで進んでいくと、いつ何が起きるか分からぬ怖い怖いです。とばかりを考えてしまつます。それより、まだどうじん失敗して、同じ人に未来は分かりません。だから、自分を信じて叩き壊けしなさいのです。

かつたのか本気で考えます。やれただけでも成長です。失敗を繰り返しながら成長です。本気でやつた結果が失敗だったら、何が悪いですか?失敗してうれしいと思う人はいませんが、落ち込んだら次に向かうチャンスを失います。だからこそ、『失敗したらガッポーズ』。新しい自分に出会える、一步進んだ自分に出会えると思い込んでください。やるなガッポーズやする度に失敗に対する不安も減っていくかもしれません。

壁を壊した瞬間が目標を達成した瞬間、成長する瞬間、自信を手に入れれる瞬間です。自分を信じてください。壊せない壁が目の前に来ていることはあります。どうすれば、いつかは壊せるのが目の前の壁なのです。人に未来は分かりません。だから、自分を信じて叩き壊けしなさいのです。その前に諦めてしまつます。みんな「あと1回」とわかつていれば叩くはかかると、あと1回叩けば壊れるかもしれません。でも金の人たちが、もしもその壁を壊せば成功ですが、何回叩けば壊れるかは分かりません。もしも前に壁があります。う人もいるでしょ。でも僕はほんな話をします。でも、諦めたくならぬよつば誘惑が、世の中にはたくさんあります。本当に続けるけど、諦めたくなるよつば誘惑が、世の中にはたくさんあります。本当に諦めたい、ひととひとと追求したいと思う思いはあるのに、誘惑に負けてしまつたんだ!とわかれます。目指してきたものを追い続

りませんから。人に言われて諦めているのです。

# 青年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター通信第1号 2022.10.16(日)



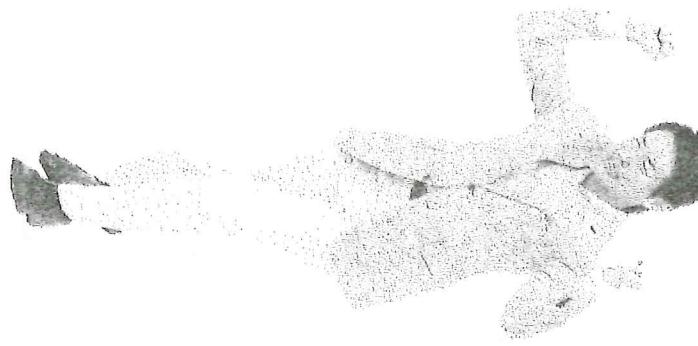
改めまして、「みなさん、こんにちは。トレセンスタッフの村澤です。長野商業高校に勤務しています。よろしくお願いします。」さてさて、このトレセンレコロナの関係でしばらく開催することができませんでしたが、日赤長野県支部のみなさんを初めとして、多くのご尽力で開催できました。本当に感謝しています。みなさんの先輩方も、毎年トレセンに参加してくれ、多くのことをなんてくれました。以前は2泊3日で行っていましたが、まだまだコロナが落ち着いたとは言えない状況ですので、今年は1日開催となりました。夏休み中の開催を計画していましたが、それも延期となり、やっとのことで、本日の開催となりました。本当にうれしく思っています。感染予防をしっかりとして、今日1日を過ごしてください。体調が悪くなったら、遠慮せずに近くのスタッフに声をかけてください。それでは、1日一緒に勉強し、多くのことを考え、実践していきましょう。よろしくね。

今日のメインは「フィールドワーク」です。ホームルームの仲間とかかれて、「やさしさと思いやりの心」を持って取り組んでくださいね。詳しいことは、中野立志館高校の中島先生からお話をあらわので、しっかりと聞いて、その後、各ホームルームに分かれて、フィールドワークに向かうテーマ説明をしてくださいね。「気づき、考え、実行する」が青年赤十字の合言葉です。身近な問題を発見(気づき)し、問題解決のための道筋や方法を探り(考え)、活動に取り組み、評価や反省をかたちに(実行)する。生活の中や社会で働く上で非常に大切な力です。是非とも、「フィールドワーク」を通して「気づき、考え、実行する」を体験してくださいね。それから、トレセンでは、学校や社会等の集団生活において、それそれが役割を持ち、仕事の内容や時と場所によって、ある時はリーダーになり、またある時は協力者の立場をとることができるように、参加者全員が「リーダーシップの取り方を学ぶこと」を目指しています。本日の活動の中でも、リーダーとして動いたり、協力者としてサポートしたり(ながら、「リーダーシップの取り方を学んでください。」)スタッフは、基本的には「指示」はしませんので、みんなで気づき、考え、実行してください。スタッフは優しく、眼差しを心地よくして、にこにこしながら見守っています。みんなを「ころん」と形でサポート(「もううために、青年赤十字青年団からびに青年赤十字卒業生のみなさんをかけてきてくださいました。みんなと卒業の近くの10代~20代のお兄さん、お姉さんです。頼りになる先輩方ですよ。トレセンは、自分を成長させ、とてもいい場です。どんどん積極的にチャレンジしていくくださいね。そんでは、1日よくお願い(ます)。

諦めるのは誰でもない自分だ

壁は打ち破れるかも  
君が次に叩く1回で、  
しれないんだ!」

# 「失敗したら ガッポーズ」



失敗も本気なら  
成長するチャンス

失敗のない人生はありません。  
人は何度も失敗します。でも、それは成長するチャンスです。と言つて  
も、それを理解して受け入れるのは簡単なことです。あります。  
今の時代は、一度の失敗が人生の失敗のようない気持でいるの  
も問題です。だから、とにかく主義でなくトライがよいこ  
とばかりを考えています。

つと、あの1回叩けば壊れるかもしれません。でも金への人たちが、し  
かずる前に諦めてしまはず。みんな「あと1回」とわかつていてれば叩くは  
その壁を壊せば成功ですが、何回叩けば壊れるかは分かりません。もし  
人に未来は分かりません。だから、自分を信じ叩き続けるしかないの  
です。つすれば、いつかは壊せるのが前の壁なのです。

壁を壊した瞬間が目標を達成した瞬間、成長する瞬間、自信を手に入れ  
る瞬間です。自分を信じてください。壊せない壁が目の前に来るのは  
ありますから。

最後ではないのは、人に言われて諦めることです。

その前に壁があります。う人もいるでしょう。それで僕はいんな話をします。  
でも、諦めたくなるよつば誘惑が、世の中にはたくさんあります。本當  
だけの、背を向けるのが自分しかいません。目標してしまったものを追い続  
けば、続けるのが誰かと言えば、自分です。目標してしまったものを終わ  
ります。諦めるのは誰かと言えば、自分です。自信をもつてやらないで、が終  
り続けたい、などと追求したいという思想はあるのに、誘惑に負けてしま  
うか、あの1回叩けば壊れるかもしれません。でも金への人たちが、し  
かずる前に諦めてしまはず。みんな「あと1回」とわかつていてれば叩くは  
その壁を壊せば成功ですが、何回叩けば壊れるかは分かりません。もし  
目に前に壁があります。

かずる前に諦めてしまはず。みんな「あと1回」とわかつていてれば叩くは  
その壁を壊せば成功ですが、何回叩けば壊れるかは分かりません。もし  
目に前に壁があります。

かずる前に諦めてしまはず。みんな「あと1回」とわかつていてれば叩くは  
その壁を壊せば成功ですが、何回叩けば壊れるかは分かりません。もし  
目に前に壁があります。

# 青柳新カリダーハーフトレーニングセミナー通信第2号 2022.10.16(日)

お疲れ様でした。暑い中の散歩(?)いやいや移動は大変でしたね。「ゆうたんとめいちゃんのじいじはお疲れでーす。でも心地よい疲れでしたよウフ~~!



みなさん！ 大変な事でした。とっても、でも天気の良い中の活動だったので、暑くて大変でしたね。万年青年（自称 18才）の私も、ひど汗がでてしましました。さてさて、長野駅までの道中、長野駅・MIDORIの中は、いかがでしたか？ 「やさしさを思いやり」を感じることはできます（下）が？ それぞれのグループでや前中に話し合い、テーマを設定して臨んだことと思します。誰にとって「やさしさを思いやり」があるかということで、多少変わってくるかもしれません、誰にとっても「やさしさを思いやり」のある街づくりができるといつです。お年寄り、子ども、身体の不自由な方、妊娠の方などなど、誰にとっても快適な街であつてほしいです。行政にお願いする部分もあると思いますが、我々がちょっと気がかりなことがあれば、ちょと想像力を働かせることができれば、とても暮らしやすい、過ごしやすい環境ってできると思います。例えば、歩道に自転車を止めなーとか、困ってる人を見かけたら「どうされました？ 何がお手伝いすることはありますか？」などなど、ほんのちょっとしたことで、みんなが生活しやす、街づくりができると思います。ほんのちょっとの気配り、心配りとほんのちょっとの気配りがあれば、誰にとっても住みやすい街になります。今日の活動の中で、へんこなことに気がつくことができたと思います。そして、へんこと老えたことを思います。あとは実行するだけです。ひとりで実行する事が大変であれば、みんなには「仲間」がいます。仲間と共に実行してみてください。みんなからできると「じーじー」は思います。短い時間（か一瞬に過ぎない）で、じーじーにはわからります。みんなは、必ずでさます。みんなと会えて、たくさん元気をもらいました。元気で、人に会ってあげられるものです。私は、みんなからいっぱい元気をもらつたので、周りの人に会ってあげようと思います。「元気をくれて、ありがとうございました。これからも、仲間と共に「やさしさを思いやりの心」を持て生活・活動してくださいね。「じーじーは応援していますよ。がんばってくださいね。」

アリガトウ!

31

人はひとりじゃない  
大丈夫にはそんな意味がある

大丈夫。文字には、全部に入っているんだよ。」



「大丈夫」と言われば、人は安心します。文字の中にある「ト」があるんですね。「大丈夫」の3文字にはそれぞれ、守られていて、応援されていると思えます。なぜかと者えてみました。「大丈夫」という文字が入ってます。いたら気づかないかもしれません、顔を上げれば心配してくれる人、励つたり、ひとりじやなんだと云いつてです。落ち込んで下を向いている、とが分かるはずです。そんなことをしつかり感じるのは大切です。だから、家族や友人が下を向いていたら、大丈夫と書いてあってください。大丈夫といふ言葉を言葉は自分に対しても同じ効果があります。

君今夢  
ゴールだけを見て  
ベストを尽くそう

「君はターバーダ」  
「今日はからかみたしなら」



あるとき、子どもに「ウサギとカメ」の話を聞いて気付いたことがあります。ウサギとカメが競争をして、いるときの互いの目線を考えてください。ウサギはカメは遅いと勝手に決めつけて、ゴー！だけを見て歩いています。でも、ウサギを追いかけて到達できたらじやないでしょうか。たから、ウサギは一所懸命にゴー！だけを目指します。ゴー！だけを見て歩いている。ウサギはカメは遅いと勝手に決めつけて、ゴー！の手前で昼寝をします。でも、ウサギはゴー！だけを見て歩いている。つまり、目標の目指し方、進み方が大事だということです。ウサギはゴー！では、カメはどうか。自分ができるへストを尽へしだだけです。物語にはマイペースで歩いたように書かれていますが、カメはゴー！までストを尽へしました。だから、カメが負けたとしても僕は怒れませんね。それ以上はできなかつたんですから。